

みんなの図書館

発行日 令和2年6月15日(月) (年4回発行)

第59号



発行者 木更津市立図書館

木更津市文京2-6-51

TEL 0438-22-3190

FAX 0438-22-7509

渡邊前館長の退任により、森田館長が着任しました。渡邊前館長、4年間ありがとうございました。森田館長の下、引き続き職員一丸となってみなさんに親しまれる図書館を目指します。

…ごあいさつ… 館長 森田 益央

令和2年4月1日付けの人事異動により図書館長を拝命いたしました。

図書館はおろか、教育委員会への異動も初めてであり、門外漢である点は否めませんが、幸いにも本を読むことが大好きで(もっぱら歴史小説ですが)、図書館の業務には大変、興味を持っておりました。

しかしながら、着任時は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休館している状況であり、なかなか本来の図書館の姿を見ることができませんでした。去る6月3日によりやうく開館を再開することができました。

しばらくの間、利用者みなさまにはご不便、ご面倒をおかけすることになりますが、安心して図書館を利用することができるよう尽力して参りますので、よろしくお願いいたします。

開館を再開しました

3月7日から、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館をしていましたが、6月3日に開館を再開しました。約3ヶ月振りの開館に、開館時間前には20人ほどの利用者の方が列を作り、「開館が待ち遠しかったよ！」と図書館再開を喜んでくださいました。



図書の貸出・返却、予約やリクエスト、新聞の閲覧、レファレンス(調べもののお手伝い)、図書館資料の複写など、すべてのサービスを再開しました。

しかし、3つの密が生まれる可能性がある「おはなし会」などの主催事業、会議室の自習への開放は当面の間中止いたします。

ホームページでは、家庭で楽しめるおはなし会の方法を掲載しています。今後もおはなし会に関する内容を掲載予定ですので、どうぞお楽しみください。





おねがいと対策



図書館では新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として以下のとおり実施しています。
ご不便をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解ご協力をお願いします。



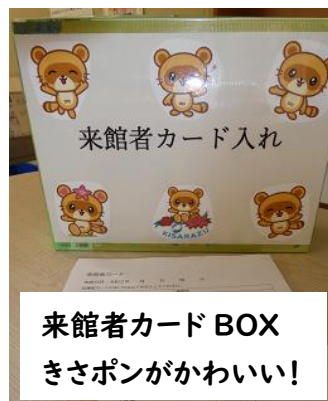
- ・マスクの着用、咳エチケットをお守りください。
 - ・入退館時の手指の消毒、こまめな手洗いの実施にご協力ください。
 - ・入館時の検温実施、来館者カードの記入と提出にご協力ください。
- 図書館カードの提示でもかまいません。

なお、館内で感染が発覚した場合は、保健所等の公的機関へ、氏名と連絡先の情報を提供します。予めご了承ください。

- ・2週間以内に発熱または体調をくずしていた方はご来館をお控えください。
- ・なるべく30分以内のご利用をお願いします。



ピッと一瞬で検温ができます



来館者カードBOX
きさぽんがかわいい！



消毒もお忘れなく



- ・定期的に館内の除菌、換気を行います。
- ・返却された図書はすべて清拭きを行い、1日保管してから棚に返します。
- ・密を避けるため、閲覧室などのイスの数を大幅に減らしてあります。
- ・飛沫拡散を防ぐため、カウンターにビニールカーテンを設置しました。少々不便ですが、お声がけはビニールカーテン越しにお願いします。
- ・貸出待機列のルートを変更しました。床の表示を確認してください。



貸出やカウンターへお尋ねの場合は、
上図の赤い表示に沿ってお並びください。



新聞閲覧コーナーもゆったり
レイアウトに変更！

休館中の図書館、こんなことしていました



休館中の様子はホームページでも一部ご紹介していますが、図書の選書や受入を行いながら、感染予防策を考え、安全に過ごせるようレイアウトの変更を行いました。

まずは、文庫コーナーと大きな活字の図書のコーナーを拡張しました。

文庫本は普段からたくさん利用があり、文庫コーナーはいつも混みあっていました。そこで32段分の棚を増やしました。冊数にして約1,500冊！以前より多少はゆったり図書を選べるようになったかと思います。

また、岩波新書だけを集めていた棚を解体し、それぞれの分類記号の棚に並べました。新書の元祖である岩波新書は、版の大きさや出版数の多さなどの理由から専用のコーナーを作っていました。しかし、岩波新書も他の新書と同じく、分類別に並んでいる方がみなさんにわかりやすいのではないかと考え専用コーナーを廃止しました。



文庫、岩波新書いずれも書庫に移動した図書もありますので、お目当ての図書が見当たらない場合は、お気軽にお声がけください。

図書館を使いこなそう NO.33

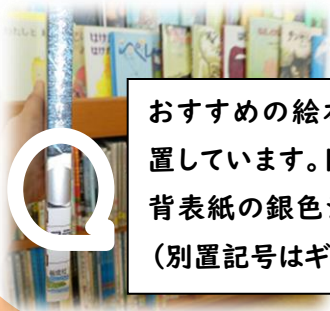
図書館用語？ “別置” ってなに？

「別置」と書いて、「べっち」と読みます。あまり馴染みのない言葉ですが、内容や形態により正規の棚ではなく、別の棚に図書を並べることを指します。

今回は文庫本を例に紹介します。

文庫本は大きさが15cm前後で、厚さもそこまでありません。文庫本を他の大判の図書と一緒にの棚に並べると、本と本の間に挟まってしまうことがあります。そこで、文庫本は文庫専用の棚に並べてあります。そのことを「別置する」と言います。

別置した図書は図書データにも別置記号を入力し、検索したときにすぐに置いてある棚がわかるようにします。ちなみに当館では、文庫は「フン」という別置記号をつけています。



おすすめの絵本も別置しています。目印は背表紙の銀色シール（別置記号はギン）

文庫本の他にも、児童室ではおすすめの絵本や幼年文学、千葉県に関する図書、郷土資料室では木更津関係の図書を集めたコーナーなどたくさんの別置がされています。図書を探すときは、別置記号にも注意して探してみてください。（データ入力できる文字数の関係で、別置記号は暗号のようになっています。別置記号例：シセ・ハマ・キソ…）

《レファレンス・トリビア》

Q お伊勢参りの宿泊先で神官から振舞われた料理があるって本当ですか？



A お伊勢参りが全国的に知られるようになったのは、伊勢踊り等が民衆の心を掴んだ近世以降のことです。その普及のために活躍したのが、日本中で伊勢信仰を広めて回った神官「御師^{おんし}」でした。御師たちは町人や農民にお札を配って初穂料を集め、彼らを伊勢参拝へと誘い出します。そして、実際に彼らが伊勢参拝へやってくると、御師邸での宿泊をはじめ、名所案内や御神楽奉納、そして飲食など一切の面倒を見たのです。

特に伊勢参りのクライマックスの一つの、神様に家内安全や五穀豊穡を感謝し、倭舞^{やまとまい}などを奉納するお神楽の際には、本膳から四の膳にいたる物凄い御馳走攻めが待っていました。日常では食べられない鯛のお刺身や浜焼きやアワビ、煮物に膾に汁物、さらには鴨もどきの肉まで登場したそうです。神様のお食事（神饌）と同じ食材も楽しめる、とても豪華なものでした。

ちなみにお神楽にはランクがあり、規模が大きくなるほど時間もお金もかかったのだそうです。最上級の「大々神楽」になると、たっぷり6時間という長丁場な歌舞を思う存分、御馳走と共に楽しめました。

しかしその分お値段もかかったそうで、ある大々神楽を楽しんだ一行が、伊勢参拝全体のお礼として対応してくれた御師に払った“神楽料”は金60両。なんと今のお金で換算すると、600万円から1000万円という大豪遊だったのです。

この御師の接待付き伊勢参り、お金さえあれば是非とも体験したいところですが、残念ながら明治に入ってから御師制度というものは無くなってしまいました。何故なら国が神道を管理するようになったから。それ以降は、お札も神官職員が直接配ることになりました。

ところが、そのやり方が今までの御師と違っていたため、檀家がお札を受け取ってくれないこともあったそうなのです。そのため、神宮はやむを得ず、江戸時代の伊勢信仰の基盤をガッチリ持っていた元御師の人々を改めて職員として雇い入れたりしたそうです。

新型コロナの収束を願って、お伊勢参りだけでもしたいところですね。

参考図書：291 フラ 7 『ブラタモリ 7』
383 エ 『江戸の献立』
R000 セ 『世界大百科事典』
R210 ニ 20 『日本庶民生活史料集成 第20巻』



「わたしの思い出の1冊」のコーナーは紙面の都合でお休みします。次回をお楽しみに！

編集後記 図書館は利用者みなさんがいてこそ、図書館としての機能が発揮できるのだなあ…と開館が再開され改めて思いました。まだコロナ不安はありますが、開館できる日常に感謝！！（めっち）
ようやく図書館が開きました！職員しかいない図書館の中での作業は、やはり味気ないものだったです。利用者の皆さんあっての図書館、これからも職員で守っていきたいと思います。（マル）